

## 新型インフルエンザ

基礎疾患のある方や妊娠している方は重症化することがありますので、特に注意が必要です。

※基礎疾患＝慢性呼吸器疾患、慢性疾患、代謝性疾患（糖尿病など）、免疫機能不全（ステロイド全身投与）、腎機能障害など

### ●基礎疾患のある方

日ごろから、かかりつけ医と受診方法や薬の処方について相談しておきましょう。

### ●妊娠している方

かかりつけの産科医師に電話して、受診する医療機関について相談しましょう。

### ●呼吸が苦しい、意識がもうろうとしているなど症状が重い方

なるべく早く入院施設のある医療機関を受診しましょう。救急車（119）を呼ぶ場合は、新型インフルエンザと疑われる症状があることを伝えてください。

### 新型インフルエンザと診断されたら…

発熱と咳、のどの痛みなどの症状が始まった日の翌日から7日目までは、症状がなくなってもできるだけ外出しないようにして下さい。また、7日目以降も症状が残る場合は、熱が下がっ

てから2日目までは、自宅での療養をお願いします。

\*新型インフルエンザと診断された場合は、必ず所属先（学校・保育所・職場など）に連絡してください。（山武郡市医師会）

## 11月8日は「いい歯の日」

「子どもの頃から8020！」

むし歯を予防しましょう

市のむし歯のある幼児の率は非常に高く、3歳児健診は表1のような結果であり、平成20年度は県内56市町村の中でワースト4位となっています。幼稚園・保育所の歯科検診結果も表2のようにになっており、むし歯になっても治療しない園児が多い状況

(表1) 3歳児健診むし歯のある幼児の率

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
山武市	40.8%	42.1%	43.2%
県平均	27.8%	27.0%	26.3%

(表2) 平成21年度幼稚園・保育所歯科検診結果

	処置歯のある子の率	未処置歯のある子の率	むし歯のある子の率
4歳児	9.4%	47.9%	57.3%
5歳児	16.5%	46.3%	62.8%



ハイ！「あ～ん」して

です。乳歯は生えかわるから大丈夫と思っはけません。乳歯の奥歯は小学校4・5年生から中学1年生頃まで生えかわりません。乳歯にむし歯が多いと永久歯がむし歯になる率が高くなります。また、乳歯と生え替わりの永久歯はむし歯になると進行がとて速いので、早期の治療が必要です。

市では、乳歯のむし歯の減少を目指し、2歳6か月児歯科健診でむし歯のなかった幼児を対象に、むし歯予防に有効とされる「フッ化物歯面塗布委託事業」を実施しています。むし歯が急増する3歳前後に山武郡市歯科医師会加入の市内の歯科医院で無料のフッ化物歯面塗布と歯科健診が受けられる事業です。市で実施する集団の歯科健診と併せて利用し定期的に健診と予防処置を受ける習慣を身につけましょう。

## 美郷会へ助成金が贈呈されました



財団 藤井氏から猪野会長に贈呈されました

美郷会は、お年寄りが「いつまでも住みなれた街で元気に安心した生活が送れるように」という思いで活動しているボランティアグループです。

地区の集会所で、軽体操やレクリエーション・歌・作品づくりなどを行い、笑顔になれる寄り合いのような楽しいひとときを過ごしています。

9月30日、日々の活動が認められ、みずほ教育福祉財団より「老後を豊かにするボランティア活動」の助成金の贈呈式が行われました。

※みずほ教育福祉財団：文化の発展と社会福祉の増進に寄与することを念願して第一勧業銀行（現みずほファイナンシャルグループ）によって設立された。